

教科	情報	科目（単位数）	情報の科学（2）	学年	3	類型	文I
----	----	---------	----------	----	---	----	----

学習目標	① 情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解する。 ② 情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得する。 ③ 情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。
------	--

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考査	コンピュータの仕組みと働き ・コンピュータの構成 ・処理の仕組み ・論理回路	・ハードウェアとソフトウェアの仕組み、コンピュータの五大要素について理解する。 ・論理回路について知り、コードで表現する便利さを実感する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間～ 期末考査	問題解決とコンピュータの活用 ・モデル化とシミュレーション ・処理手順の明確化と自動化	・表計算ソフトウェアを用いてデータ分析し、モデル化する手順を理解する。 ・フローチャートを用いてアルゴリズムを作る。 ・簡単なプログラムを作成・実行する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末～ 2学期 中間考査	問題解決とコンピュータの活用 ・プログラムの改善 ・問題解決の概念図	・アルゴリズムを利用してプログラムを改善し、効率のよいプログラムを作成する。 ・問題解決に役立つ概念図を作成する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間～ 期末考査	問題解決とコンピュータの活用 ・問題解決のプロセス ・情報の分析 ・解決方法の考察と選択	・問題解決のステップを学び、適した情報の分析方法や解決方法を選択する。 ・PDCAサイクルを理解し、活用する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末～ 年度末	画像と音の表現 ・情報のデジタル化 ・画像と音楽ファイルの作成 情報社会の科学的な理解 ・これからの社会と情報モラル	・情報のデジタル化について学び、画像や音楽ファイルを作成・加工する。 ・情報化が社会にどのような変化をもたらしているかを学び、これからの社会の変化を想像する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	教科書「情報の科学」(東京書籍)
学習方法	授業内で学習内容をきちんと理解し、実習課題を完成させること。授業内で完成しなかった場合は、昼休みや放課後にパソコン室を利用することも可とする。
評価方法	①定期考査 ②実習課題 ③授業態度